

鳥取市庁舎整備の問題で、市庁舎新築移転を問う市民の会（吉田幹男会長）は3日、昨年5月の住民投票で多数となった耐震改修案に沿った整備を求める2万5846人分の署名を市に提出した。

市庁舎整備について竹内功市長は、7日開会の6月定例会市議会で庁舎整備の考え方を示す意向。同会は市長の方針表明の前に、改めてコストの抑制を重視した耐震改修案での整備を求めた。

市役所を訪れた同会の八村輝夫副会長（75）ら5人は、署名の束を市市民総合相談課に提出し「住民投票の結果（耐震改修案）を尊重してほしい」と述べた。署名は、市や議会の議論への不満から、耐震改修の早期実現を求め、今年2月から先月末まで集めてきた。

同会は、先月20日に署名の提出のため、市役所を訪れたが、市長が不在で幹部が対応しなかったことを不満として、署名を持ち帰っていた。【高嶋将之】